

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 15 日

事務事業名	ICT技術を活用した英会話交流事業			事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020101001002
	政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201	学校教育の充実				学校教育課
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり				課長名
	施策名	01	学校教育の充実				グループ
	手段名	01	①教育内容の充実				担当者名
	財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	10	01	02	07	00	ICT技術を活用した英会話交流事業
法令根拠				事業期間		単年度繰返し (平成29年度～)	
				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要												
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)				②担当者が行う業務の内容・やり方・手順							
	本事業は、桜川市内児童の英語教育の充実を図り、国際的に活躍できる児童の育成を目的として実施する。本事業の取り組みを契機に、積極的に海外の子どもたちとコミュニケーションを取り、相互に英語と日本語で教育・生活・文化を教えあふことで学習効果、意欲を高めあふ交流を深める。 ※令和3年度の交流は、新型コロナウイルスの影響により、バコール市の小学校が休校、オンライン授業が中心となったため、中止となった。				<ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査、視察地情報収集、視察地決定、学校説明</li> <li>視察研修準備、交流小学校決定</li> <li>交流校との打ち合わせ</li> <li>市内交流校の決定</li> <li>現地視察研修の実施</li> <li>施設整備 (テレビモニター他機器の設置)</li> <li>英会話助手の選定</li> <li>英会話交流のサポート</li> <li>実績報告書の作成</li> </ul>							
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移												
①手段 (担当者の活動内容)				④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
・市内とフィリピンの交流校を決定及び事業の説明 ・現地視察研修の実施 ・施設整備 (テレビモニター他機器の設置) ・英会話助手の選定 ・英会話交流のサポート ・実績報告書の作成				スカイプを活用した交流回数			0.00	0.00	180.00	180.00	180.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)				⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
市内小学校・義務教育学校の児童				市内児童数			1,805.00	1,750.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)				⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
英語学習に取り組む動機づけとなる。				交流を行った延べ児童数			0.00	0.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量 (事業費) の推移							02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0					
			県支出金	千円	0	0	0					
			地方債	千円	0	0	0					
			使用料・手数料	千円	0	0	0					
			その他	千円	0	0	0					
			一般財源	千円	1,006	0	4,661					
	事業費計(A)	千円	1,006	0	4,661							
事業費の内訳	03年度事業費実績 (千円)					04年度事業費予算 (千円)						
						01 報酬	2,489					
						08 旅費	709					
						10 需用費	163					
						12 委託料	500					
						17 備品購入費	800					
						合計	0				合計	4,661

事務事業名	ICT技術を活用した英会話交流事業	事務事業No.	20101001002	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
全国でICTを用いた英会話交流事業が普及し始め、桜川市でも平成27,28年頃から市内の児童を対象に英語力の向上を目指して、ICTを用いた交流事業を推進すべきという話が出てきた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
関係者からは、市内の全ての小学校と義務教育学校が交流できるようにと要望があるため、新型コロナウイルスの影響を踏まえながら、中学校区にまとめて全ての児童が交流できるように進めていきたい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ICTを用いて海外の児童・生徒と触れ合うことで、英語を身近に感じ、英語への学習意欲を高めることができている。また、異文化への理解も深めていることは、政策体系に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小学校から英語の授業が始まっており、児童に英語に触れ合う機会を与え、英語力の向上を目的としているため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、多くの学校で児童が交流に参加できるように進めていきたい。交流内容についても適宜確認しながら、児童が楽しく英語に触れ合うことができるように事業を推進したい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童の英語に触れ合う機会が少なくなってしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。 具体的な手段、事務事業名
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 相手学校の選定や備品について桜川市の負担が増えないように必要最小限の費用でやっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 教育の一貫として事業を展開しており、今後対象となる学校を増やしていくため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和3年度も、新型コロナウイルスの影響により、バコール市の小学校が休校、オンライン授業が中心となったため、英会話交流を行うことはできなかった。現在まで交流を行っている3つの小学校の担当者とは、必要に応じて連絡を取っており、新型コロナウイルスが落ち着き、児童が学校に通えるようになったら、交流を再開したいと考えている。																								
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の小学校全て交流ができるように準備を進めたい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認